＜回付先＞松岡社長　清水副社長　鹿毛取締役　森常務執行役員　波多野常務執行役員　岩下監査役

# 災害　報告書

| 宛先 | 日本コークス工業　人事・総務部長　殿 | 日付 | 2023-03-19 05:17 |
|---|---|---|---|
| 発信元 | 有明機電工業株式会社　社長 | （写）<br>送付先 | 経営管理部長<br>リスクマネジメントGL、人事GL、総務GL |

| No. | 項目 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 事案の内容<br>①何が起こったか | シグマ三川発電所構内で塩酸タンク下のフランジボルトを3本外した時に塩酪が流れ出したために元に復旧する作業中に35％塩酸を体に被った。 |
| | ②誰がどうなったか | 成和機工（株） 被災者A 70歳 男 |
| 2 | 発生日時 | 2020-01-08 08:50 |
| 3 | 発生箇所 | シグマ三川発電所構内 |
| 4 | 発生経緯 | 2020-01-29 08:50　有明機電工業の安全管理者はシグマパワー社と打合せで現場を離れていた。作業者1人は工事に必要なジャッキを取りに戻り、残った被災者は、フランジボルトを3本外し、残りの1本を緩めてフランジを廻した瞬間に圧着していたパッキンが外れた。その時、塩酸が勢いよくフランジから流れ出たために慌ててフランジを元に復旧しようとボルトで締めた時に飛散した塩酸を被った。<br>（なぜ工事の段取りの中でフランジ側の作業を進めたのかは確認中） |
| 5 | 法令違反の有無 | なし |
| 6 | 発生原因・理由 | 本人はフランジ上のバルブは締まっていると思い込んでいた。（本人談）<br>本バルブ操作（閉止）はフランジ作業前にシグマ三川発電所側で行うと、前日の夕方に作業者全員（含む被災者）にシグマ三川発電所から周知されていた。<br>（被災者は聞いていないと言っているが、そばで作業している作業者からは被災者は同席していたとのこと） |
| 7 | 影響（被害の程度）<br>①人身 | 気道熱傷、咽頭浮腫、顔面やけど |
| | ②施設 | なし |
| | ③その他 | なし |
| 8 | 現在の状況<br>①現在の状況 | 大牟田市立病院にて治療、入院 |
| | ②対応の進行状況 | なし |
| 9 | 今後の見通し<br>①事態の発展性 | なし |
| | ②対応の成果 | なし |
| 10 | 関係官公署への連絡 | 現在は病院経由の所定様式を提出予定 |

| | | |
|---|---|---|
| 11 | 本店または他部門<br>への要請事項 | なし |
| 12 | 今後の連絡先<br>（所属,氏名,TEL,<br>FAX,携帯番号,E-mail） | 有明機電工業（株）<br><br>安全環境部長 松永 浩一<br><br>TEL：0944-57-3999 |